



みんなで減らそう！食品ロス

みんなで実現！ゼロカーボン



地球くん

ゼロカーボン市民AP in まつもと
(公式キャラクター)

アルプちゃん

(松本市マスコットキャラクター)

「食品ロス」とは、食べられるのに捨てられてしまう食べ物のこと。

食品ロスの削減は、私たちの生活に欠かせない「食べる」ことに大きく関わる身近な課題であり、同時に国際社会の共通目標の1つでもあります。

私たちの行動ひとつで、世界を変えることができます！



食品ロスって、なんとなくたくさん出てるようなイメージ。
日本でどのくらい発生しているのかな？

日本の食品ロス発生量は1年間に464万トンと推計されています。

これは国民一人あたり、毎日、コンビニのおにぎり約1個分のまだ食べられる食べ物を捨ててしまっている計算です。

日本の食糧自給率は約37%なので、輸入してまで食べ物を捨てていることになります。



おにぎり1個分捨てているのは“もったいない”！
減らさなきゃ！とおもうけど、減らすとどんな効果があるのかな？

食べ物が私たちの口に入るまでには、生産、製造、加工、流通、小売り、消費といった多くの過程を経て、たくさんの水やエネルギーが使われています。

日本の食品ロス量から推計した結果、食品ロスによる温室効果ガス排出量の合計は、家庭用の冷房による排出量の約1.5倍であるとも言われています。(消費者庁推計)

食品ロスの削減は、温室効果ガス排出量の削減にもつながります。食品ロスは『ゼロカーボン市民アクションプラン in まつもと』にも載っています。



食べ物ができるまでには、多くの人も働いてくれているものね。
それを捨ててしまったら本当に“もったいない”。
それに、食品ロスの削減はゼロカーボンの実現にもつながるんだ！
食品ロスを減らすために、わたしたちはどんなことができるかな？

まずは食べきれる量をお皿に盛ったり、買ったり、注文したりすること、おうちにある食材を傷む前に食べることから始めてみましょう。

もっと詳しく知りたい方は“松本市”&“食品ロス”で検索してください。



どんなことでも、できることからはじめよう！

松本市 食品ロス

